
小畑と私

阿田怜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小畑と私

【Nコード】

N9447Y

【作者名】

阿田怜

【あらすじ】

小畑悠介は根暗で無口な転校生。そんな彼がいじめのターゲットとなり、新しい学校生活に満足していた私。けれど私はそんな小畑と会話を交わすうちに小さな違和感を覚えるようになった……。

転校生の小畑裕介は、私の斜め前に座る明らかに根暗な人。前髪が長くてどんな顔をしているのかよく分からない。彼がこの学校にやって来たのは昨日。始業式の日だ。彼はきつとここへ来た事を後悔するだろう。

廊下から教室に帰って来た彼は、周りのみんなとは異様だ。負のオーラがこの目に見えているようだ。

彼が机に座るのを見て、私は雑貨屋で買ったばかりのお気に入りのお泊りから一本ペンを取り出すと、ノートに文字を書き始めた。書き終わってノートを適当にビリッと破く。

よし、上手く破れた。

それを簡単に紙飛行機に折って、彼の方へ飛ばした。それは彼の左肩に当たってコトンと床に落ちた。

軽くしか当たらなかったのも、もしかしたら彼は気付かなかったのかもしれない。ピクリとも動かない彼に、どう伝えようか次の方法を考える。直接話すのもなあ……。すると、彼はのそりと紙飛行機を拾い上げた。

なんだ、気付いてるじゃん。

彼はその紙を丁寧に広げ、文字を読んだ。私はそれで満足し、ペンをポーチの中に戻してチャックを閉じた。

『地獄へようこそ』

？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9447y/>

小畑と私

2011年11月28日06時05分発行